

第4回八千代市地域ケア会議記録

開催日	令和2年11月30日		開催時間	19：30～21：30		場所	市役所別館2階第1.2会議室			
公開又は非公開の別		公開	傍聴人定員数		25		傍聴人数		21名	
参加者 (敬称略)	事例提供者	氏名	根本 雅子	所属	八千代市八千代台地域包括支援センター	職種	保健師		事例1	
		氏名	河島 ゆり子	所属	八千代市八千代台地域包括支援センター	職種	介護支援専門員		事例2	
	事例に関わる介護サービス事業者	氏名	菅沼 弘喜	所属	ミック健康の森ゆりのき台	職種	管理者		事例1	
		氏名	佐藤 剛明	所属	オーケーサービス	職種	福祉用具専門相談員		事例2	
		氏名		所属		職種				
		氏名		所属		職種				
	第2層生活支援コーディネーター	氏名	森田 千春	所属	八千代市八千代台地域包括支援センター	職種	社会福祉士		事例1.2	
	助言者	氏名	得本 鋭也	所属	八千代市医師会	職種	医師			
		氏名	中澤 正博	所属	八千代市歯科医師会	職種	歯科医師			
		氏名	小川 敦	所属	八千代市薬剤師会	職種	薬剤師			
		氏名	岩崎 千昇	所属	八千代市訪問看護師会	職種	看護師			
		氏名	薄 直宏	所属	千葉県理学療法士会	職種	理学療法士			
		氏名	白濱 徳之	所属	八千代市介護サービス事業者協議会	職種	主任介護支援専門員			
		氏名	鈴木 孝将	所属	八千代市介護サービス事業者協議会	職種	生活相談員・施設介護支援専門員			
		氏名	八巻 裕美	所属	八千代市社会福祉協議会	職種	第一層生活支援コーディネーター			
	事務局	氏名	立石 貴紀	所属	長寿支援課	職種	課長			
		氏名	高倉 歩	所属	長寿支援課地域包括支援センター	職種	所長			
		氏名	熊井 啓一郎	所属	長寿支援課	職種	副主幹			
		氏名	櫻井 崇巨	所属	長寿支援課地域包括支援センター	職種	主査			
		氏名	我孫子 香代子	所属	長寿支援課地域包括支援センター	職種	主任保健師			
氏名		石橋 さなえ	所属	長寿支援課地域包括支援センター	職種	主任保健師				
氏名		関口 直紀	所属	長寿支援課地域包括支援センター	職種	主査補				
氏名		小沼 真琴	所属	長寿支援課地域包括支援センター	職種	主任主事				
氏名		鈴木 翔平	所属	長寿支援課地域包括支援センター	職種	保健師				
傍聴人	市民		0	名	介護支援専門員	2	名	介護サービス従事者	0	名
	医療従事者		3	名	地域包括支援センター職員	16	名	合計	21	名

事例1	事例概要	地区	八千代台圏域	年齢	59	性別	女性	世帯類型	夫婦のみ
		要介護度	要支援1	認定期間	令和1年9月1日	～	令和4年8月31日		
		家族構成	同居：夫 別居：母、長女夫婦 兄弟、夫の妹 夫の母	キーパーソン					
		診断名	脳梗塞	高血圧症・高脂血症	糖尿病				
		サービス内容	通所介護(通所型サービス)						
	検討テーマ	脳疾患のある第2号被保険者のゴール設定について							
	内容	脳梗塞を発症後、左上下肢の麻痺があり、6年間、同じデイサービスを週1回利用しており、少しずつ自身ができることが増えてた。第2号被保険者であり、本人が希望する「引きずり歩行を改善したい」、「走れるようになりたい」という機能の向上は達成可能なのか。病識が十分でない本人の病識に対する理解を深めるための方法を知りたい。							
	助言内容	内容							発言者
		糖尿病の調子良くない。歯医者に行くのは、詰め物が取れ時のみ。基本的な口腔ケアにより、口腔内の炎症を取らないと全身に影響してくるという報告はエビデンスある。歯医者に通って、定期的にお掃除してもらう必要がある。嚥下体操はやられているようだが、脳梗塞の既往歴があるため、積極的にトレーニングしてもらった方がよい。							中澤
		QOLは改善している。本人は歩きたい、支援者も歩かせたい。しかし、現状のリハビリテーションでは、その可能性は非常に低い。本人を歩かせたいという目標を、もっと違う観点に方向転換した方がいいのではないかと。現在のリハビリを辞める必要はないが、本人の希望の持たせ方を変える必要がある。							得本
歩行にこだわっているのではなく、ある程度歩けるようになったら、家事などやりたいと思っていのではないかと。本人の歩けるようになりたいという目標と、デイサービスの方での家事動作を向上させる目標は、実は、本人の都合としては同じところに繋がるかもしれない。歩行だけでなく、そこから先の何をしたいかが重要。「病識を深める」ということについて、ご主人も高血圧症があって、薬を投薬されているということと、旅行に行くほど夫婦仲も良いため、夫も交えて、脳梗塞のリスク等一緒に勉強し、病識を2人に理解してもらうと良い。								白濱	
糖尿がだんだん進行しており、ジャヌビアを飲んでる。筋肉の量が減ってくると、薬の作用にも少し影響してくる可能性がある。糖尿病治療薬はたくさん種類があり、主治医が切り換えていくことはあるが、できれば今飲んでいる薬をある程度長く維持するっていう意味では、筋力を失わないということは重要。それを踏まえて、説明をしたり、それを含めて目標の中に入れてよい。								小川	
ケアマネージャーも他の方も本人に会うことができる時間は少ない。その中で関係性を築いて、本心を引き出すのはとても大変なこと。同年代のデイサービススタッフと仲良くお話をしており、一般的な高齢者介護とは少し違う点で非常にメリットでもある。直接接したスタッフが聴き取った本人の意向というものを、ケアマネージャーに直接伝えることは難しいため、事業所として本人から聞き取った本人の意向をケアマネに伝えることが有効。年齢が50歳代ということで、義理の母に対してのアプローチが多いが、5年10年と考える息子、孫に対し協力を得ることが重要。								鈴木	
興味・関心チェックシートの方に、興味があるものに丸がついていて、まだ「今はしていない」というところに、×がついていて、居酒屋に行くとか、映画、演奏会など興味があることについてできるようになると、歩行以外にも関心がいくのではないかと。								八巻	
糖尿病をベースに考えた時に、予防や病識は、運動療法、薬物療法、食事療法って三本柱。通所があってモチベーションなのであればそれはとてもよい。食事についての目標設定は、ただ「走りたい」ではなくて、具体的に目標を食事の中でもできると良い。病識については、リハビリ病院でどういう予後の説明があったのか、医師からの説明をどのように本人が理解しているかを確認すること。例えば診察に同席することや、以前どのように聞いているかと尋ねるなど。生い立ちとしてもともと食生活の改善に気を向けられない可能性もある。								岩崎	
装具を使っていないのであれば身体機能の評価をして、装具療法というのも一つの手段としてはある。歩行を何のためにするのかっていうのは、すごく重要などころになる。							薄		
地域課題	第2号被保険者の地域生活上の課題が、これまでなかなか表面化しにくく、同じような生活課題を持つ人がいると思われる。							森田	
感想等	年齢も考慮し、この方が50代なので、この先のご両親のことではなく、長男夫婦、孫に対しての視点が理解できた。食事の見直しなど、すぐに生かせる内容もあった。引きずらないで歩けるようになりたいっていうのは、そうなることで何をしたいのかということも考えていきたい。							根本	

事例概要	地区	八千代台圏域	年齢	87	性別	女性	世帯類型	夫婦のみ
	要介護度	要支援1	認定期間	令和1年6月1日	～	令和4年5月31日		
	家族構成	同居：本人、夫 別居：長男、長女			キーパーソン			
	診断名	腰部脊柱管狭窄症	不整脈・ペースメーカー留置	多発性膝鞘炎・骨粗しょう症			腰痛	
	サービス内容	福祉用具貸与（歩行補助杖）						
検討テーマ	歩行困難で閉じこもりの利用者への機能訓練の動機づけと外出支援について							
内容	新型コロナウイルス感染を恐れ、他者との関わり、とりわけデイサービスなどの人が集まる場所行くことに対して消極的。ここ数ヶ月前からよく転ぶようになっていいる。移動手段もタクシーを使う頻度が増えている。今後の支援の方向性を検討したい。							
事例2	内容							発言者
	高齢者の場合、一般的に不安感が強い。そのことは高齢者が少ない地域で若年者がたくさんいるので、感染を発生させた場合に、社会的な制裁を受けるのではないかと、特に子供たちにうつしたくないかかって言われる、そういう恐怖感も他の人よりも強いと考えられる。デイサービス事業者と、利用者の感染防護対策の情報を伝え、安心感を与えることが必要。病院には行っているため、そのような安心できる情報を発信することで、デイサービスに行っても大丈夫だと思える可能性もあるかもしれない。ケアマネが医療機関に問合せする際は、コロナ禍で結構忙しい場合は、なかなかすぐには対応できないので、いちばん良いのはFAXをもらえれば、時間が空いたときに書いて返信する。あとは来院者と同行であれば、それに対応する。							得本
	コロナ禍での恐怖というのは、誰でも共通していることであり、積極的に外に出させることが良いとは言いきれない。自宅内で自分で出来ることで対応する必要がある。猫背というのがかなりの頻度で、嚥下障害に結びつく。感染にも弱そうであり、肺炎とか起こすと、かなり危険なため、簡単な嚥下体操を歯科医師会でアドバイスできるため、利用してはどうか。自宅がバリアフリーじゃないというのは、転倒・骨折から介護度が上がるリスクがあり、提案が必要。							中澤
	廃業症候群になる確率は、高い。コロナウイルスにかかるリスクと、ご自身が転倒・骨折するリスクをどこまで把握しているか。本人に入っている情報量が支援者と全然違う。日中テレビを見て毎日のようにコロナウイルス関連の情報が入っている。それに対して自分が廃業症候群になることに関する知識は少ない。大腿骨頸部骨折に関して、骨折の前の歩行可能な状態から要介護になる方が36%から42%となっている。因果関係は別として、大腿骨頸部骨折の生命予後は平均5年程度。経済的には要介護1で、介護福祉施設サービス費用が242万円掛かる。医療費、介護費用など、転倒すれば骨折・入院、おそらくリハビリ病院入って3ヶ月くらいは入院するなどのリスクを避ける判断のための情報を説明してはどうか。							岩崎
	おそらく、コロナを理由にというよりも、コロナが引き金になって、デイサービスに行かなくなっているため、デイサービスに行かなくなった本来の理由は多分違うところにある。おそらく、利用していたデイサービスが本人に合っていないのかもしれないところだと思う。八千代台のエリアはデイサービスも多いはずなので、いろんなところをどんどん紹介していくと良い。ペースメーカーに及ぼす電動ベッドの影響について、古い電動ベッドは、ペースメーカーに影響がある可能性があったことがあるらしく、ペースメーカーの説明書を見ると、電動ベッドなどの電動器具についての注意項が書いてあったことがあるが、今はモーターが大分改良されているので、今はほとんど影響がないと文献で読んだことがある。							白濱
	もしかしたら過去に通っていたデイサービスが全てと思っている可能性がある。相性が良さそうなデイサービスにアプローチするのがよい。コロナウイルスのことなど、本人の思い込みが強い。本人の味方になってくれる人を見つける視点が大事。一番近くにいる、毎日電話をしている長女ではないか。ケアマネが急にお話をしてもなかなか受け入れられないところが、本人が信頼する誰かが言うかかっていうとよい。倒れたり、怪我をすると夫婦2人の生活を支えることができないので、ケアマネとの関係ができて、「じゃあとりあえず、顔立てて1回行ってあげようかな」とか、「そこまで言うんだったら」とか、「せっかく味方になってくれている方が、そこまで言うんだたら」となるように、伝える内容というよりも、伝える話し方、伝える人を工夫するとよい。							鈴木
	複数の医療機関を受診されており、それぞれの医師の立場で処方されるが、他の医師の処方の意図がよく把握できないため、薬が重なるケースがすごく多く、高齢者がどんどん薬が増えてしまう。そのため、医療機関はできるだけ限定して欲しい。また、薬剤師会として、今かかりつけ薬局として、薬局ある程度限定してもらおうと、この事例に処方されているタガメットは、意外と他の薬とぶつかって、相互作用が出ることもあり、同じ胃薬で使うなら、H2ブロッカーに代えて欲しいと、先生のご意見を聞くなどの援助ができる。かなり高齢なので、腎機能がだんだん落ちてくる可能性があり、アムロジピンは対症上関係ないんが、泌尿器の方の薬が高圧効果もあり、腎機能が落ちたときに血圧が下がりがすぎるとかかっていうことが起きる可能性もある。1人の薬剤師の先生が全部管理できるようにしておくとい。夫は毎日電気治療に行っているため、その整形外科と一緒に、行くようにするとよい。							小川
	転倒して骨折するリスクが高い。ご本人に対して、どのように提案をしていくかというのが大事で、ケアマネが訪問リハを導入する意図や意味を説明する必要がある。ケアマネが伝えるのが難しければ、夫や長女を通じ、本人に説明するとよい。							薄
	元気になったときに、元気体操出てもらったりとか、世代間交流に出る。周りから、ラジオ体操に誘ってもらおうとよい。							八巻
地域課題	コロナ禍における地域活動への参加は難しい。しかし、地域には感染対策をしながら続けている団体もあり、説明するとで参加してもらえるとよい。							森田
感想等	デイサービス行くことが、その人の理想だと決めつけてしまい、対話が足りなかった。今後の支援の方法としては、もう少しアセスメントを細かく行うことと同時に、ケアマネ対ご本人、一対一の支援ではなく家族を巻き込んで行く必要がある。デイサービスの感染対策、薬局一本化など有効な情報を、ケアマネが一時的に発信していくのではなく、もう少し周りを巻き込んで、包み込むような支援をしていく。							河島